

館山市議会にも 〳新しい風〳

4年の議員任期の半分が過ぎ、議会でも様々な人事がありました。特に議長選挙は、先進的と言ってもよい画期的な出来事でした。

全国の市議会でも、多数派の会派が順番に議長を出して、というような決め方がなされることが多いと思うのですが、今回はそういう古いやり方はやめて、議会のトップとして最も相応しい人を選ぼう、という機運が一部であり、「多数派工作」のような駆け引きには乗らなかつた議長が結果的に再選されたのです。慣例を破り4年連続というのも初めての事です。

常任委員会のメンバーも入れ替わりました。建設経済委員会では、一人会派で一期生の私を委員長に抜擢してくださいました！先輩議員の皆さんが私の2年間の活動を評価してくださった結果だと思ふので、本当に嬉しくありがたいです。これからも市民の皆さんが期待する「新しい風」を起こせるよう活動して参ります。



◆コラボ企画◆

第1部 むろあつみの市政報告

第2部 出前講座

「健康福祉部長に福祉施策を聞く」

第3部 市民懇談会

日時:7月19日(水)10:00~12:00

場所:コミュニティセンター
2階集団指導室

どなたでもご参加いただけます(無料)。
部長さんと本音のお話ができる貴重な機会です。
皆さんとワイワイお話しできることを楽しみにしています。

6月議会報告・・・むろあつみの行政一般質問より

◎市職員の業務遂行体制について

昨年から課税誤りや支払い遅延などの業務ミスが散見されます。その原因、責任の取り方、有効な再発防止策が取られているかどうか、また業務のやり方やチェック体制、職員の配置や業務量などに根本的な問題は無いのか確認しました。

常勤職員数は、15年前の約500人から現在404人まで減少。鴨川市495人、南房総市510人と比べても大きな差があります。定員適正化計画では事務の見直しなどの手法を定めています。職員数削減に比べて事業の効率化等が追い付いていないのではないのでしょうか。

また、引継ぎが上手くできていないことがミスの要因として挙げられていたため、統一的な業務マニュアルの作成または各課のマニュアルをチェックしてみることを提案しました。

さらに、ミスは起こり得るものという前提で、大きくならないよう早めに報告できる雰囲気作り(介護の職場での”ヒヤリハット報告書”を参考に。早い段階で申告すれば担当者のミスは問わない)や、同じ過ちを繰り返さないよう小さなミスでも対応策を含め全庁的に情報共有することを提案しました。仕事の基本である「報告(生)・連(絡)・相(談)」の徹底を強く望みます。

前回(5月20日)市政報告会参加者の声

- 議会の現状を生々の声で知り、議員選挙は大切なことであると再認識しました。今までは、議員の決めること、市が決めたことだからと何もかもお任せでしたが、色々な仕組みや行政の方向、あり方にも関心を持つ必要を感じました。(80代男性)
- 外部を知っている方の館山感を生かして頑張ってください。(70代男性)
- 館山市の財政が困難とのことですが、今後、南房総市と合併は考えているのか。今後、高齢化により、空き家が増えて対策はあるのか、医療費も妻が1割から3割になるなど問題点は色々ある。(70代男性)
- 若者が関心を持つ“見せ方”があればいいといつも感じています。(40代男性)
- 保育士の流出を何とか食い止めてください。(60代男性)
- 女性の目線で議会に新風を吹き込んでください。(70代男性)
- 興味深い話でとても有意義な時間でした。(60代男性)
- 行政=Mr.トランプにならないように、議員の方も何でも可決させてしまわないように、もっと市民のことを本当に考えて活動して欲しいです。市民も、市民のために働いてくださる人を議会に送り出さないとだめですね。日ごろから色々見たり考えたり、今日のような集会にも出た方が良くと思います。また、こういった会を開いて欲しいです。(60代女性)
- 榎本議長をお招きして、市議会の仕組み、活動がよく分かりました。室さんの一所懸命な活動がとてもよく理解できました。(70代女性)
- 国会議員の質の低下に危機感。政治、行政は生活をみるべき。井戸端会議でも最近では政治に対する怒りの声が多い。身近な市政からみてゆけるようにしたいので参加しました。(60代女性)



◎市民や来訪者の交通利便性の確保について

地域公共交通については、議会でも度も取り上げている重要な問題なので、これまでの活動や主張をまとめて解説します。

〈そもそも何が問題なのか?〉

市内には、館山駅を中心に9路線が放射線状に運行しています。このバス路線を維持するための補助金として、市は年間約1,500万円(平成29年度当初予算ベース)支出しています(西岬地区はJRバスが補助金なしで運行)。

市の主張:「現状のバス路線維持が最優先。そのためには住民にバスを利用してもらわなければならない(多少使い勝手が悪くても)。今回、公共交通の利用促進の標語募集をしたのは、住民に危機感を持ってもらう必要があるから。国交省が推進している「公共交通網形成計画(注)の策定については考えていない(今議会での市長発言は「総合的に検討する。」)

むろ主張:「車がない人がバスを使いたいのに使えないのは、使い勝手が悪いから。これを放置してお金を払って乗れというのは行政の怠慢。高齢者のバス利用目的の第一は買物と通院。ここに行けるような工夫が必要。市役所にもバス停がない。何年も前に作られた交通体系は、時代の変化に対応できていない。公共交通はまちづくりと一

体であり、先ず網形成計画策定に着手し抜本的に公共交通のあり方を見直し「欲しい」

これまで私は、国交省、南房総市、バス事業者、専門家と意見交換を重ねてきたが、いずれも館山市が網形成計画策定に乗り出すことを強く望み、支援も申し出てくれている。全国の先進地では、行政が事業者や住民と一体となって公共交通を含めたまちづくりを積極的に行っている。

〈西岬地区での動き〉

何とか抜本的な対策に向けた突破口を、と考え、西岬地域での協議会立ち上げに奔走しました。観光事業者、住民代表(区長会長、議員)、JRバス他関係者が集まり、市はオブザーバーとして参加しています。

JRバスが主催した西岬住民との意見交換により、車のない高齢者の要望を受け、買物に行きやすい路線に変更することも検討してくれることになりました。

できることから始めているこうした動きを参考に、館山市も計画策定に乗り出すよう、強く迫りました。

*(注) 国は、自治体が中心となって持続可能な地域公共交通の構築を目指すために『地域公共交通網形成計画』の策定を推進していて、千葉県では南房総市、鴨川市含む8市町村が策定済みです。



◆高齢者のイベント時の送迎について

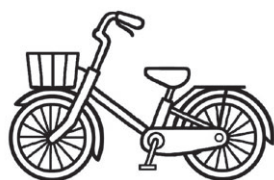
高齢者の閉じこもり防止の観点から、南総文化ホールなどで行われるイベント時の送迎ができないか聞いたところ、市が所有するバス3台は送迎に使っているとの回答だったので、市民への周知をお願いしました。

◆海岸駐車場の有料化について

北条海岸の駐車場有料化の方策について、「海岸所有者である千葉県と長い間協議を重ね、最近一歩前進し、早期有料化の実現を目指している」との回答を得ました。

◆サイクルツーリズムの推進方針

市として、官民協働によるオール安房で積極的にサイクルツーリズムを推進していく方針を確認しました。



議会傍聴者の声

(一部略)



聴いている人を飽きさせない素晴らしい質問でした。あつという間の59分26秒でした。

市側の答弁は相変わらず(中略)。国会での答弁「徹底的に速やかに」の繰り返しみたいでした。

保育士問題もこれからですね。口火は切れたかと思えます。ありがとうございました。

西岬のバスの件もなんで「やります」と言わないのですかね?国が「やれ」と言っているのに。大きく前進したのは、海岸の駐車場を有料化にすることですね。

むろさんの全てに諦めない姿に感動しました。

保育士の処遇比較

	常勤		非常勤
	短大・新卒	園長クラス	1年~17年勤務
時給	1,045円	約2,400円	1,000~1,050円
時間外・時給	1,306~1,568円		(同上)
賞与(年間)	約46万円	約170万円	なし

(注) 常勤の時給、賞与は扶養その他状況により異なる。

◎保育士確保について
全国的にも保育士不足が深刻な中、常勤・非常勤のあまりに大きな処遇の違いに警鐘を鳴らしました。